

第68回 富士見祭、4年ぶりに開催!!



去る10月28日(土)・29日(日)に第68回富士見祭が開催されました。

今年の富士見祭テーマは「新時代」でした。

芸能企画や模擬店など、例年行われてきたイベントを残しつつ、今年初の企画も複数盛り込みました。

約4年ぶりの開催で学生会のほぼ全員が富士見祭を体験したことがない状況ではありましたが、先生方をはじめ各部活動や団体のご協力のおかげで無事に終えることができました。

富士見祭の成功という目標に向かって60人を超える学生会のメンバーが団結することは非常に難しいことでした。ただ、こうした経験は今後の人生における糧になったと感じています。



富士見祭
実行委員長 4年
渡部 みどり

連綿と受け継がれてきた伝統を引き継ぎ、日本歯科大学富士見祭に富士見祭実行委員長として携われたことを大きな誇りに感じます。

最後になりましたが、第68回富士見祭をサポートくださった学内と校友会の先生方や学生部の方々、スポンサー、近隣の皆様に感謝申し上げます。

校友会からのご挨拶

将来の夢は文武両道で

日本歯科大学校友会 会長
渡邊 儀一郎



人生100年時代を迎えるにあたり、健康寿命と幸福寿命がキーワードである。

昔から「文武両道」と言われているが、いまは文的に頭がいい人と、武的に頭がいい人に二極化しているそうである。

「文」は座って本が読めて記憶してうん蓄が語れることが大事で、側頭葉と前頭葉を結ぶ部分の脳が鍛えられる。一方、「武」は動くときに必ず目を使う。相手を観察しなければならぬからである。そのため、スポーツをすると前頭葉と視覚系を結び、脳の前と後ろが鍛えられるといわれている。

幸せのために本当に大事なことは、日々満足していること、生きる力に対して前向きであること、そして「自分自身は幸せだ」と自覚することである。老化は脳から始まり、さらに「人は感情から劣化する」といわれるように、前頭葉は、使って鍛えていない限り衰えてしまう。

常にチャレンジする精神をもっていれば、学生生活は必ず、光り輝き続けることができるであろう。

生命歯学部

解 剖学研究会は、部員による座学講義と夏休みの人体解剖学実習を主に活動しています。コロナ禍でも、Zoomを用いて講義を行い、活動を継続してきた部の一つです。昨年度からは3年ぶりに解剖学実習を再開させることができました。久しぶりの実習で暗中模索の日々でしたが、多くの先生方やOBの先生のお力添えもあり、無事に実習を終えられ、今年度は富士見祭での展示発表も行いました。

私たちは部活動を通じて、知識だけでなく、医療人としての倫理観の涵養や生命への畏敬の念を常に心に留めることを理念としています。毎年、慰霊祭を通じて、多くの関係者の方々の意思と善意に支えられてることに感謝し、今後も活動して参ります。



生命歯学部5年
宮川 美紀



新潟生命歯学部

解 剖学グルンドは、週に1回、部員19名で活動しています。緩やかに活動しているので、兼部もしやすい部活となっています。1年生は、骨格標本や歯のスケッチ、2学年からの解剖学の学習を上級生と共にしています。2年生は、本格的に始まる解剖学や口腔解剖学を中心に学習・スケッチを進めます。3年生以降は、下級生と学習やスケッチを行うので、総合試験対策にも繋がっています。

本格的な内容に取り組むことができ、研究にも参加することができます。それ以外は骨学セミナーや肉眼解剖セミナー、日本解剖学総会などに任意で参加することができます。部員と共に部活動を盛り上げていきたいと考えていますので、入部をお待ちしています。



新潟生命歯学部2年
藤島 聡之介



特別 講義

校友会主催 歯科医師国家試験対策講義

恒 例の特別講義が、生命歯学部は4月6日(木)、新潟生命歯学部は12月18日(月)に、日本歯科大学校友会主催により開催された。麻布デンタルアカデミーの石黒智彦先生(99回)による、歯科医師国家試験対策講義で、生命歯学部143名、新潟生命歯学部51名が受講した。内容は、①国試の結果、傾向②対策、準備③合格までの道標の3つで構成され、冒頭では国家試験の厳しい現状がデータで示された。②・③では、合格のために必要な無駄のない勉強法と国試対策が、専門家の立場から示され、学生も1年後の国家試験に向け、気持ちを新たにされた様子だった。受講後のアンケートでは、「モチベーションが上がった」「この時期に受講することができて良かった」という感想も多く寄せられ、有意義な特別講義だった。



1年生対象

「プロフェッショナリズム」

校友会について講義

令 和5年8月31日(木)、1年生を対象に、「プロフェッショナリズム」という授業の一環として校友会について講義を行った。校友会とは何か？校友会と同窓会の違いは？世界一の歯科大学ってホント？などの疑問について説明した。

校友会は、卒業してから入会することにはなるが、卒業してから恩恵を受けるだけでなく、在学中の合同合宿、富士見祭・浜浦祭、学生表彰などの賛助を行っており、関わりは深い。

入学時から校友会という存在を理解してもらい、卒業時には、ぜひとも多くの方々に入会していただきたいと思う。



校友会本部 常務理事
石川 明子(70回)





東京

附属病院
放射線・病理診断科

柳下 寿郎

日本歯科大学での41年……

日本歯科大学に入学したのは昭和58年4月。平成、令和と3つの年号にわたり千代田区富士見の地で、学部生、大学院生、教員として歩み続けてきた。学生時代にはヨット部に所属。1年間のうち1/4は荒崎の合宿所にいた。デンタル3連覇は良き先輩、同輩、後輩と成し遂げた誇りである。登院の1年間はAブロックに配属された。総勢20数名。いい仲間であった。教員を含めてよく飲みに行き、将来について語りあった。しかし、よく怒られ、何回もレポートを書かされた。

人生の転機は2名の偉大な病理の教授に出会えたこと。須賀昭一先生と青葉孝昭先生である。二人の共通はめちゃくちゃ「コワイ」である。しかし、良い師であった。現役の学生諸君にも良き仲間を作り、そして自分の人生の師匠を見つけて欲しい！



大学2年生。ヨット部の仲間と(真ん中が本人)。



大学3年生。荒崎のヨット部合宿所にて。



教員3年目(本人、一番左)。



大学院2年生。平成3年新年会の式典にて(左端2列目が本人)。



大学5年生。登院時代(左端3列目が本人)。



新潟

新潟生命歯学部
解剖学第1講座

影山 幾男

学生時代

「影山先生、佐渡まで泳いだのは本当ですか？」私はこの質問を今まで何度もたずねられた。答えは作り話である。といっても私が作った話ではない。あくまで学生サイドが作ったものである。確かに身体を鍛えるため、ほぼ5年間新聞配達、寺泊まで遠距離ジョグ、新潟市ボクシング教室通い、ボクシング大会にも出てチャンピオンにもなった。

オールデンタルでは鶴見大学において少林寺拳法：乱捕の部で当時、松本歯科大学主将の脛骨を折ってしまい、申し訳ないことをした。

1982年3月新潟校卒業後は、心を入れ替え、東京慈恵会医科大学の解剖学第1講座に入局し、1993年まで在籍、その年の4月から日本歯科大学に勤務している。それからのことは紙面が足りないので後日としたい。



鶴見大学でのオールデンタルの試合



新潟県ボクシング国体予選

荒木飛呂彦は高校の後輩だった！

荒木 飛呂彦は、日本の漫画家。宮城県仙台市宮城野区出身。仙台市立小松島小学校卒業、仙台市立台原中学校卒業、東北学院榴ヶ岡高等学校卒業、仙台デザイン専門学校卒業。宮城教育大学中退。

生年月日：1960年6月7日(63歳) 出身地：宮城県仙台市
血液型：B型



榴ヶ岡高校の恩師を偲ぶ会

充実した歯科人生を！

永田 弘之 (83回)



私 は松戸市で開業する、卒後約30年の一歯科医師です。

学生時代は少林寺拳法部で主将を務めていました。

現在は1日4～5人、自由診療のみの診療をしています。

人は人との関わりなしでは生きていけません。人との出会いが新しい自分へのチャンスにもなります。

歯科医師として自立していくためには「守破離」の考え方が非常に大切です。

私は卒後から現在に至るまで、大学は違いますが、拳法繋がり師匠から薫陶を受け、現在の私の臨床の礎となっております。

皆さんは卒後「守」のステージに入りますが、目指すべき山を決めずに歩くのは彷徨うに等しいともいえます。できるだけ早期に将来の目標を見据え、技術・人間性に優れた良き師匠に師事し、その生き方から多くを学び、初めは基礎固めと人間性を磨き、次の段階で専門医や認定医などの「武器」を持っておいでもいでしょう。

私達は社会貢献と自己実現というものを我々の職業で見つけ出し、拡大していく必要があります。そのためには初心を忘れずに、職を通じて他人に利する行為を先に、のちに感謝の気持ちがこもった報酬を得るといった利他の精神を忘れず、最後は自分の描く夢を実現してください。



患者、術者双方がストレスを感じない個室でゆったりと穏やかな気持ちで日々診療を行なっています。



学会の後にヨセメ国立公園に行きました。



アメリカ歯内療法学会(AAE)に参加した際、偶然にも空港(SFO)で本学保存学教授の五十嵐教授とお会いしました。



IFEA(世界歯内療法会議・ソウル)でも五十嵐教授と再会。

東京

『よくわかる歯科訪問診療』

監：佐藤裕二 水口俊介 小笠原正 他
編：猪原光 金久弥生 古屋純一 他

出版社：永末書店 出版年月：2023/6

請求記号：D.92/I55 登録番号：100039345

歯科訪問診療の知識を基礎から体系的に学ぶことができる書籍です。訪問診療の制度や多職種との医療連携などが記載された総論。在宅診療時の患者管理や感染対策、具体的なケア方法の経過と結果などを解説した各論。実際に現場で起きた事例を紹介する実践編と多岐にわたる内容を網羅しているため、学生や今後訪問診療に関わる方の初めの1冊としてオススメです。



●図書館開館情報

開館情報はQRコードから閲覧ください。



新潟

『咀嚼の本3 噛むことの大切さを再認識しよう』

編：特定非営利活動法人 日本咀嚼学会

出版社：口腔保健協会 出版年：2022

請求記号：D1.3-N-3 登録番号：000141121

本書では、咀嚼と医療に関連する事例を、「咀嚼はなぜ重要なのか」「ひとはどのように食べているのか」という基礎的なところからかみ砕いて解説しています。全6章からなり、各章にQ&A形式での解説が掲載されているため、何が問題となっているのかわかりやすい構成になっています。本学の教職員はもちろんのこと、学部一年生や初學者にもお勧めできる一冊となっています。



●図書館開館情報

平日9:00～18:00 第2水曜日12:00～18:00 土曜日 終日閉館
貸出・返却・閲覧のみの利用になります。

学生短信 Niigata

臨床実習での学び

私 は獣医学部を卒業したあと、日本歯科大学に編入しました。獣医学部では、犬猫などの伴侶動物だけでなく、牛や馬などの生産動物の身体や病気について学びましたが、歯について学ぶ機会があまりなかったため、より深い知識を得たいと思い、編入学を決めました。獣医学部で学んだこととの共通点や相違点を感じながら、日々病院での実習に励んでいます。臨床実習では多くの治療に触れ、講義で学んだことを実際に見学することができるので、より理解を深めることができます。歯科医師国家試験やその先の歯科医師を見据えて、しっかりと学んでいきたいと思っています。



新潟生命歯学部5年
長谷川 祐美

PFA優秀学生賞

— のたびは、ピエールフォシャルアカデミー国際歯学会で優秀学生賞をいただき、光栄に思います。この学会は歯科医学の発展と向上を目的とする国際的組織です。授賞式は海外の先生も参加され、非常に緊張しましたが、学会の実際の空気に触れる貴重な体験ができました。



新潟生命歯学部5年 古川 喜大

校友の 歴史の重さ 手渡して 頼むぞ後輩 母校の未来 伝統を 守ってゆきます 我々も 富士見・浜浦 熱き心で

